

# 平成20年度「発達障害シンポジウム」開催のご案内

近年、「発達障害者支援法」の制定や「特別支援教育」の推進等により、発達障害児者に対する認識が急速に広まってきていますが、その一方で発達障害児者に対応できる療育機関や教育機関、及び医療機関等が限られているため、発達障害児者本人や家族のニーズに対して、十分な対応ができていないのが現状です。

そこで今回、一般市民をはじめ、発達障害児者にかかわる保護者や家族・教育・福祉・医療・保健・労働関係機関等の職員を対象に、北九州市内の就労の現状や課題、今後の方向性等について認識を共有し、発達障害の理解と今後の発達障害児者支援の体制整備に役立てることを目的として、講演会とシンポジウムを開催いたします。

平成18年度からシリーズで講演会とシンポジウムを実施してきましたが、今年度は「福祉と就労」に主眼を置き開催します。

## 1 テーマ 「発達障害児者の支援を考える Vol. 3」

### 一働く・支える：就労支援の現状と課題一

2 講師 愛媛大学教育学部障害児教育講座 教授 上岡 一世氏  
愛媛大学教育学部付属特別支援学校 校長

3 日時 平成20年11月30日(日) 9:00~15:30  
 9:00 受付  
 9:30 開始  
 9:45~12:00 講演：上岡一世氏 (休憩15分)  
 12:00~13:00 昼食・休憩  
 13:00~15:30 シンポジウム  
 (質疑応答、講師コメント等を含む)  
 15:30 終了

## 4 シンポジストおよび座長

座長	西南女学院大学 保健福祉学部 福祉学科教授	山根 正夫氏
シンポジスト	カフェ・ラポール(就労継続支援A型) 所長	江田久美子氏
(順不同)	福岡障害者職業センター北九州支所	首藤 友子氏
	北九州障害者しごとサポートセンター長	比舘 進氏
	北九州市自閉症児者の未来を考える会	森山 謙治氏
	北九州市立小池特別支援学校教諭	新谷 耕二氏

5 会場 北九州市学術研究都市 メインホール(会議場)  
北九州市若松区ひびきの2番3号

6 対象者 一般市民、当事者、保護者、家族、教員、学生、教育関係、福祉施設職員、保育士、医療・保健・福祉・労働機関の職員など

7 定員 400名

8 参加費 無料

## 9 申し込み方法

- \* 往復はがき又はFAXにて、①氏名、②住所、③連絡先電話番号(FAXで申込まれた方はFAX番号も)④申し込み者の所属を書き、10月15日~11月5日までに、「北九州市発達障害者支援センター宛」に申込みください。
- \* 複数連名での申し込みも可。代表者の①~④と、全員の①と④を明記ください。
- \* なお、「市政だより」の10月15日号に掲載予定です。
- \* 多数の場合は抽選となります。
- \* ご応募いただいた皆さまには、参加可・不可のお返事を、11月15日頃にお知らせします。(連名の場合は、代表者に連絡いたします)

10 主催 北九州市  
社会福祉法人 北九州市福祉事業団  
北九州市発達障害者支援センター つばさ

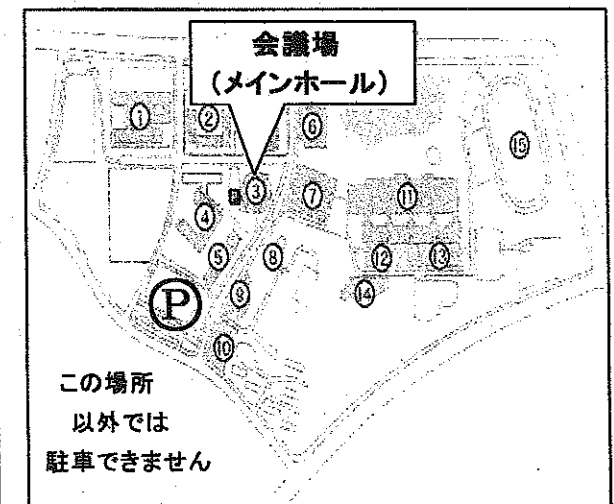
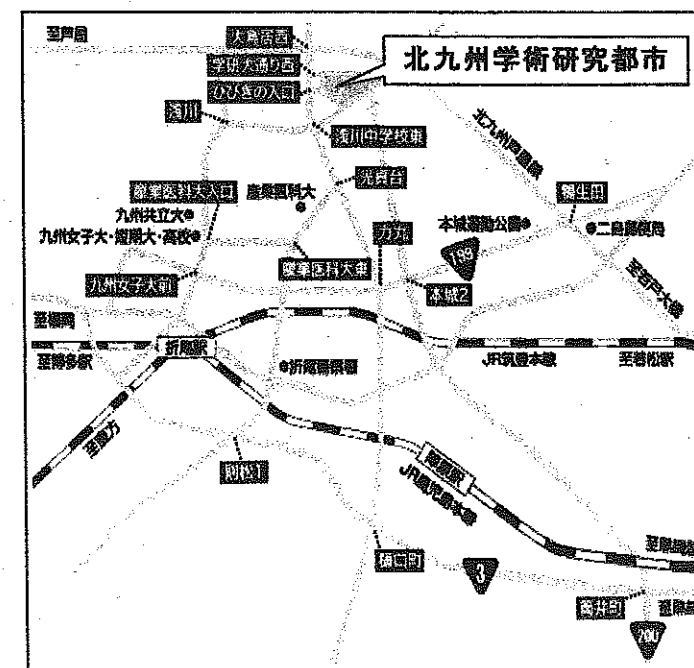
11 後援 北九州市教育委員会、西南女学院大学、北九州市手をつなぐ育成会、北九州LD親の会「すばる」、北九州市自閉症児者の未来を考える会、北九州市自閉症協会

12 昼食 各自でご用意ください。

\* 当日レストランは閉店です。近くにコンビニがあります。

## 13 会場までの交通機関

- (北九州市営バス)： JR折尾駅西口から学術研究都市行(33・63番)  
「学研都市ひびきの」下車(料金200円、約15分)  
\* 土休日は運行本数が少ない。
- (タクシー)： 折尾駅より料金約1500円程度、時間10分程度。
- (自家用車)： 駐車場あり(約200台収容)、会場まで徒歩3~4分。  
(地中のP)



- この場所以外では駐車できません
- ①早稲田大学大学院情報生産システム研究科
  - ②早稲田大学理工学総合センター九州研究所
  - ③会議場(メインホール)
  - ④九州工業大学大学院生命体工学研究科
  - ⑤情報技術高度化センター(産学連携センター3号館)
  - ⑥学術情報センター
  - ⑦体育館
  - ⑧共同研究開発センター(産学連携センター2号館)